

企画展「北加伊道・松浦武四郎のエゾ地探検」関屋敏隆絵本原画展を開催

2018(平成30)年は「北海道命名150年」であり、道内各地で北海道の名付け親でもある松浦武四郎や、北海道の近世・近代史に親しむ催事が多く予定されている。当館では、松浦武四郎を主人公とする絵本「北加伊道 松浦武四郎のエゾ地探検」の原画展(型染版画)を開催した(4月7日～6月3日)。

作者の関屋敏隆氏は本作をはじめ、産経児童出版文化賞美術賞、プラテイスラヴァ世界絵本原画展ビエンナーレ金のりんご賞などを受賞した「オホーツクの海に生きる」、また「まぼろしのデレン間宮林蔵の北方探検」「楽園 知床に生きる人びとと生きものたち」など、北海道をテーマとする著書も多い。1960年代からたびたび北海道を訪れ、釧根地方でも多くの人々と交流を重ねている。当館もそのご縁があって、充実した内容で開催できた。心から感謝申し上げる次第である。

会場には原画27点に加え、作者・関屋敏隆氏が絵本制作に使用している型染版画の道具(シルクスクリーン等)、直筆の幟や自筆の北海道地図、和綴じ本等)、松浦武四郎一行の探検の様子を彫刻した木彫などを展示した。

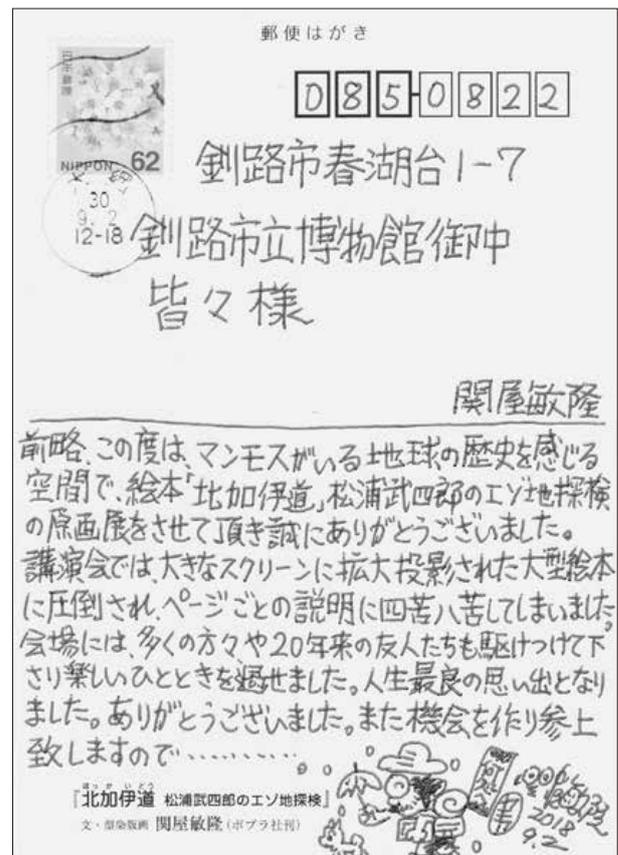
また北海道中小企業家同友会くしろ支部では、2011年から三重県中小企業家同友会と「武四郎交流」を行っていることから、本企画展について共催を、また会員各社には協賛をいただくこととなった。

期間中は子どもたちから高齢者まで多くの来場があり、また何度も来場する方も少なくなかった。5月13日に開催した講演会では、武四郎への思いや釧根地方での思い出など、関屋氏のあたたかで聴衆を惹き付ける話に、87名の参加者が耳を傾けた。

企画展終了後、当館へメッセージ(はがき)をいただいた。ここに紹介し、関屋氏のあたたかなお人柄を感じていただければと思う。(石川孝織)



講演中の関屋氏(5月17日・当館講堂)



主 催：釧路市立博物館 共 催：(一社)北海道中小企業家同友会くしろ支部・釧路市立博物館友の会
 協 賛：(株)アシスト・(株)オイコス・(株)ダスキン釧路・(株)トップオブ釧路・(株)トーテック・長江建材(株)・(株)藤プリント
 (株)プライムネス・北泉開発(株)・(株)三ツ輪商会
 後 援：釧路地方の地名を考える会・北海道・釧路命名150年武四郎まつり実行委員会・北海道新聞釧路支社・釧路新聞社
 FMくしろ
 協 力：松浦武四郎記念館 (北海道150年事業実行委員会「北海道みらい事業」登録)